

# 懐かし ラジオ デイズ

WELCOME TO GOOD OLD  
RADIO DAYS

## 通崎睦美コンサート 今、甦る! 木琴デイズ

木琴 通崎睦美 ピアノ 土居知子 ピアノ 松園洋二 vol.14

「よろこそ懐かしのラジオデイズへ」

**A program 戦前の日本・アメリカ編**

ゲスト: 土居知子 (ピアノ)

**B program 戦中・戦後の日本編**

ゲスト: 松園洋二 (ピアノ)

program

# 2021.5.23



A program B program 各60分 4回 公演	第1回公演	12:40開場	13:00開演	<b>A</b>
	第2回公演	14:40開場	15:00開演	<b>B</b>
	第3回公演	16:40開場	17:00開演	<b>A</b>
	第4回公演	18:40開場	19:00開演	<b>B</b>

○座席は、通常の7割、140席限定です。 ○マスクの着用をお願いします。  
○各公演の間で充分な換気を行うため、開場は各公演の20分前となります。  
密にならないよう気をつけてお待ち下さい。 ○京都府が定めるイベント  
開催ガイドラインに沿って運営します。演奏会当日の状況により、変更事項  
が生じる可能性があります。ご了承いただければ幸いです。

## 京都文化博物館 別館ホール

企画・主催: 通崎睦美 お問合せ: otonowa 075-252-8255

## 「ようこそ懐かしのラジオデイズへ」

2013年に上梓した拙著『木琴デイズ 平岡養一「天衣無縫の音楽人生」』（講談社）を音楽で迎える本シリーズも、14回目を迎えます。今回は、「ようこそ、懐かしのラジオデイズへ」と題し、実際にラジオから流れた木琴の音楽を中心にプログラムを組みました。テレビが主流になる前のラジオの時代<ラジオデイズ>は、マリンバが台頭する以前、木琴全盛期の<木琴デイズ>と広く重なります。平岡養一(1907-1981)の音楽人生は、まさにラジオと共にあったといっても過言ではないでしょう。レパートリーは、新たに開拓しながらも繰り返し演奏して育てていくもの。年代で区切ることはできませんが、vol.14では、それぞれの時代の特徴的な曲を選びました。

1928年5月にデビューした平岡は、同年10月、ラジオ番組「コドモの時間」に出演します。1930年7月渡米。3ヶ月後にはアメリカのラジオ番組に出演を果たし、翌年3月から真珠湾攻撃の日まで10年9ヶ月の間、NBCの番組で毎朝全米の人々に木琴の音色を届けました。Aプログラムでは、この時期に演奏された曲、クラシック音楽の作品を中心に。ゲストは、高校時代からの同級生で、当時約10年間私の伴奏をしてくださったピアニストの土居知子さん。約30年ぶりの共演です。Bプログラムのピアニストは、本シリーズでお馴染みの作曲家・松園洋二さん。戦中に帰国、戦後は「楽譜があればなんでも演奏する」と、映画音楽、歌謡曲、そしてタンゴも演奏した平岡の多彩なレパートリーをお聴きいただけます。

今回は、vol.10から衣装を制作して下さっている千本木晴さん(京都市立芸術大学大学院生)に、衣装に加え、舞台空間のデザインもお願いしました。

休憩なしの60分、どうぞ合わせてお楽しみください。

使用楽器 アーティスト・スペシャル・サイロフォンNo.266 (1935年、1962年改造、ディーガン社、アメリカ製)  
スーパー・ライト・ウエイト・サイロフォンNo.834 (1920年代、ディーガン社、アメリカ製)★Aプロのみ

## A program 戦前の日本・アメリカ編

ゲスト: 土居知子 (ピアノ)

チャールダシュ モンティ  
ガヴォット 第2番 二長調 ポッパー  
モッキングバード幻想曲 ストビー  
お江戸日本橋・かっぽれ 日本俗謡/山田耕筰  
ヴァイオリン・ソナタ イ長調 K.305 第1楽章 モーツァルト  
クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581 第2楽章 モーツァルト  
ヴァイオリン・ソナタ 二長調 Op.12, No.1 第3楽章 ベートーヴェン  
ハンガリア狂詩曲第2番 リスト/朝吹英一編

## B program 戦中・戦後の日本編

ゲスト: 松園洋二 (ピアノ)

ジー・ウイズ ブルック  
交響曲第94番 長調「驚愕」Hob.I:94 第2楽章 ハイドン/トパーニ  
ジブシー・ロンド ハイドン  
アリオソ バッハ  
軍隊行進曲 シューベルト  
四羽の白鳥〜「白鳥の湖」より チャイコフスキー\*  
テネシーワルツ キング  
煙が日にしみる カン  
パリの空の下 ジロー/林光編  
ラ・クンバルシート ロドリゲス\*  
夜来香 服部良一\*  
山寺の和尚さん 服部良一\*  
平城山 平井康三郎  
龍 貴志康一\* \*平岡養一版

# 2021 5月23日 (日)

入場料 全自由席/消費税込み 未就学児童入場不可  
一般 前売 2500円  
当日 3000円 各回140席限定

通しチケット 4000円 (第1回+第2回/第2回+第3回/第3回+第4回/第1回+第4回)

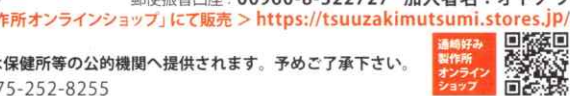
通しチケットは3月19日から4月9日まで「通崎好み製作所オンラインショップ」にて販売 > <https://tsuzakimutsumi.stores.jp/>

\*ご購入の際は、氏名と電話番号を必ずご登録下さい。  
来場者から感染者が発生した場合、登録された情報は保健所等の公的機関へ提供されます。予めご了承下さい。

企画・主催: 通崎睦美 お問い合わせ: otonowa 075-252-8255

チケット販売 チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> [Pコード:193-882]  
\*セブン-イレブン(マルチコピー機)店頭購入可  
otonowa 075-252-8255 ※電話予約のみ/  
郵便振替口座: 00960-8-322727 加入者名: オトノワ

通崎好み製作所オンラインショップ <https://tsuzakimutsumi.stores.jp/>



## 通崎睦美 (木琴)

1967年京都市生まれ。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。マリンバのソリストとして活動中、2005年東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会(指揮/井上道哉)で、木琴の巨匠・平岡養一氏が初演した紙恭輔「木琴協奏曲」(1944)を平岡氏の木琴で演奏。それを機に、氏の愛器と約600点にのぼる楽譜やマレットを譲り受けた。以後、演奏・執筆活動を通して木琴の復権に力を注いでいる。2013年に上梓した平岡の評伝『木琴デイズ 平岡養一「天衣無縫の音楽人生」』（講談社）で、第24回吉田秀和賞、第36回サントリー学芸賞(社会・風俗部門)を受賞。2018年4月には、ニューヨーク州立大学オスウィゴ校の招きで渡米。同大学をはじめニューヨーク州郊外の各地でコンサートやマスタークラスを行った。また、2000年頃よりアンティーク着物の着こなしが話題となり、コレクションやライフスタイルが様々なメディアで紹介されている。同時期より文筆活動を始め現在に至る。CDに「1935」「スパイと踊子」他。著書に『天使突抜一丁目〜着物と自転車と』『天使突抜367』(淡文社)他。2021年、第39回京都府文化賞功労賞受賞。

## 土居知子 (ピアノ)

京都市立芸術大学卒業、同大学院音楽研究科修了後、渡独。国立ドレスデン音楽大学大学院、同大学マスタークラス修了。第8回飯塚新人音楽コンクール第1位、第38回マリア・カナルス国際音楽コンクール(スペイン)第3位、第5回カントウ国際ピアノコンクール(イタリア)で1位なしの第2位。大阪文化祭賞、青山音楽賞の他、数々の入賞・受賞を果たす。ソリストとして、NHK交響楽団、京都市交響楽団、神戸市室内合奏団他オーケストラと協演。近年は、ソロリサイタルの他、室内楽・歌曲伴奏のアンサンブルピアニストとして活動。これまでに、カール・ライスター(Cl.)、フランソワ・ルルー(Ob.)、松下悦子(Sop.)等と共演。その柔軟な音楽性や堅実なサポートが各方面から評価されている。2018年1st.CD『モーツァルトピアノ変奏曲集』をリリース。現在、京都女子大学教授。

## 松園洋二 (ピアノ)

京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業、音楽学部賞受賞。同大学院修了。主な作品に、音楽物語「きつねのおきやくさま」、歌曲集「工藤直子の詩によるうたの絵本」などがある。作品を発表する傍ら、伴奏ピアニストとしても幅広く活動。京都フランス音楽アカデミーや数々のコンクールにて伴奏を務める。京都フィルハーモニー室内合奏団のピアニストを経て、現在、平安女学院大学子ども教育学部教授。京都市立芸術大学非常勤講師。



### 【交通案内】

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩3分
- 阪急「烏丸駅」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩7分
- 京阪「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ徒歩15分
- JR、近鉄「京都駅」から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩2分

## 京都文化博物館

別館ホール(京都市中京区三条高倉)